

令和8年9月4日

保護者 様

浜松市立有玉小学校
校長 伊藤 千恵

全国学力・学習状況調査の結果について

日頃より本校の教育活動に対し、多大なる御理解と御協力をいただき心より感謝申し上げます。

春に実施いたしました全国学力・学習状況調査の結果が届きました。つきましては、本校児童の結果についての分析をお知らせします。また、個人の結果については、別紙として配付しましたので、御確認ください。

<全体を通して>

本校児童の算数においては全国平均を上回り、国語においても全国と遜色ない数値を示しており、全体として概ね良好な状況にあります。

◇優れた点 ◆課題となる点

<国語科>

漢字などの基礎知識に加え、「読むこと」から「自分の考えを書く」へのつながりがスムーズでした。

◇情報の扱い方に関する事項

目的に応じて、必要な情報を見付けることができます。このことは、児童質問紙調査で「インターネットを使って情報収集ができる」と答えた児童が 91.1%（全国比+6.5）に達していることと深く結び付いています。日常的な ICT 活用が、情報の取捨選択や整理能力の向上に寄与していると思われます。

◇読むこと

全国平均を上回る正答率を収めています。特に、目的や意図に応じて必要な情報を見付ける力が優れています。

◇漢字

日常的な漢字の書き取りが定着しています。「短い（みじかい）」などの漢字を文の中で正しく書く問題では、正答率 85.7%と全国平均 80.0%を大きく上回りました

◇自分の経験に基づいた記述力

文章を読んだ後、自分の経験と結び付けて考えをまとめる記述問題で、76.5%の児童が正解条件を全て満たしており、表現力が豊かです。

◆話すこと・聞くこと

資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫することにやや課題が見られました。

◆書くこと

全国をやや下回る結果となりました。特に情報の統合の観点である、表現記述式問題（問題番号2四）に課題が見られます。これは単なる「書く」学習の不足ではなく、抜き出した複数の情報を、相手に伝わるように再構成し、適切に統合する力がまだ十分に発揮できていないと思われます。

自分の考えを分かりやすく伝え合うためにどのような工夫が必要か考える学習を取り入れてまいります。また、情報の「読み取り」から「再構築」へのステップを重視します。授業の中で、抽出したデータや意見を自分の言葉でまとめ直し、論理的に表現する活動をさらに強化してまいります。

<算数科>

「数と計算」「図形」「測定」「変化と関係」「データの活用」の全領域において、全国および静岡県の平均を上回っています。また、計算技能だけでなく、「グラフや表から根拠を見付けて説明する」という活用力が本校の大きな強みと言えます。ただ、基礎的な概念の定着が進んでいる一方で、複数の情報を組み合わせる応用力に伸長への余地があります。

◇数と計算

基礎・活用 が共に優れています。「3枚のカードを並べて最大数をつくる問題」で 95.9%、(全国比+1.4)「数直線上で分数の位置($\frac{5}{3}$ など)を特定する問題」で 74.5% (全国比+6.4)「 $6.37-5 \cdot 5-3.76$ のような整数と小数の減法の計算問題」で 64.3% (全国比+6.2) の正答率を記録しました。今後より複雑な計算や図形の学習に取り組む上での「堅実な土台」となります。

◇公式の理解と適用

立方体の体積を求める式を正しく書く問題では、78.6% (全国比+5.9) の児童が正解しました。

◇複雑な資料から根拠を見出す思考力

複数の表を比較してアンケートの誤りを見付け、その根拠を記述する問題では、66.3% (全国比+10.1) と全国を 10 ポイント以上上回る優れた結果でした。

◆図形

「直方体の箱の形を構成する面」や「体積の意味」、「日常生活の問題を解決するために、図形を構成する要素に着目して直方体の3つの辺の長さを捉え、示された条件を基に、調べたい数量の求め方を数や言葉を用いて記述する」ことにやや課題が見られました。

◆複合的な資料の読解

二次元の表から必要な数値を読み取る問題(問題番号4(3):正答率23.5%(全国17.9%))が低調でした。これは「複数のデータポイントを交差させて参照する力」の育成が必要であると思われます。

苦手意識の見られる「図形」や「複合的な表の読み取り」に重点を置いた復習を行います。特に、算数の知識を単なる計算として終わらせず、日常生活の具体的な場面(買い物の割合や統計資料の解釈など)と結び付け、実践的な思考力を養ってまいります。

<児童質問紙>

児童の学習意欲や自己肯定感において、全国平均を 10 ポイント以上上回る非常に良い結果が出ています。これらの結果は、本校児童が自分に自信を持ち、ICT をツールとして使いこなしながら、主体的に学ぼうとする姿勢を持っていることを裏付けています。

◇「自分には、良いところがあると思いますか」: 94.1% (全国 85%)

◇「先生は、あなたの良いところを認めてくれていると思いますか」: 95.1% (全国 91.4%)

◇「分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか」 87.3% (全国 79.4%)

◇「学校に行くのは楽しいと思いますか」: 98% (全国 85.7%)

今回の調査から、本校の児童は「確かな基礎力」と「主体的な学習姿勢」というすばらしい強みをもっていることが再確認できました。これらの強みを最大限に伸ばしながら、記述力や複雑な資料解読を身に付けることができるように指導していきたいと思います。

今後とも、家庭と学校が連携し、お子様の成長を支えていければ幸いです。

有玉小学校 TEL: 435-0051

担当: 主幹教諭 本樫 俊介